

講義科目名称： 次世代育成看護開発学特論

授業コード： 8420003010

英文科目名称： Advanced Nursing Development for the Next Generation

| | | | |
|-------------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 通年 | 1学年 | 2単位 | 選択必修 |
| 担当教員 | | | |
| ◎常盤洋子、大久保明子 | | | |
| | | | |
| 添付ファイル | | | |
| | | | |

| | | | | |
|------|---|------------------------------|---------------------|---|
| 授業種類 | 【開講】 通年 | 【授業時間】 30時間 | | |
| | 【担当教員】 | | | |
| | 【氏名】 ◎常盤 洋子 cn. ac. jp 増澤 祐子 大久保 明子 cn. ac. jp | 【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 | 【研究室】 320 207 | 【メールアドレス】 yotokiwa@niigata- ohkubo@niigata- |
| | 【大学の科目区分】 専門科目 | | | |
| | 【DP1】 ○ | 【DP2】 ◎ | 【DP3】 ○ | 【DP4】 ○ |
| | | | 【DP5】 | 【DP6】 |

| | |
|------|---|
| 到達目標 | 1. 母子看護学研究の動向を確認して、母性看護学・助産学、小児看護学に関する理論と知識について理解を深める。 2. 次世代育成に関わる文献抄読、クリティークを通して、次世代育成に関わる研究課題、研究の意義、方法について探究できる。 3. 次世代育成に関わる看護ケアの開発と評価方法、尺度開発など様々な研究方法について理解できる。 4. 次世代育成に関わる看護研究に必要な質的研究方法と量的研究方法について理解できる。 5. 次世代育成に関わる看護研究の研究倫理について理解を深め、倫理観を高める。 6. 次世代育成に関わる研究実施における自己の課題を論述する。 |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 母性各期の女性と子どもおよびその家族の健康課題や問題解決のために必要な理論や方法論・技法について実証的に研究する方法と実践に適用可能な研究方法を修得する。さらに、リプロダクティブ・ヘルスの関心領域における新たな看護モデル、援助方法の開発を提案するため、系統的情報検索および批判的吟味の能力、母子の健康問題を分析する能力、EBMをふまえた看護ケア開発にアプローチする能力を修得する。 |
|------|--|

| | | |
|------|---|---|
| 授業計画 | 1 | 授業内容 授業形態：講義 学修課題：オリエンテーション 学修内容：自己の研究テーマにおける研究の動機と研究のアウトライン 備考：常盤・増澤 |
| | 2 | 授業内容 授業形態：演習 学修課題：研究課題に関する文献レビュー 学修内容：研究課題に関する文献レビュー、研究の問い、研究の意義の言語化 備考：常盤・増澤 |
| | 3 | 授業内容 授業形態：演習 学修課題：研究課題に関する文献レビュー 学修内容：研究課題に関する文献レビューのプレゼンテーション・ディスカッション 備考：常盤・増澤 |
| | 4 | 授業内容 授業形態：演習 学修課題：次世代育成看護学領域における（研究課題に関する）概念・看護理論・看護モデルの動向 学修内容：次世代育成看護にかかわる（研究課題に関する）概念・看護理論・看護モデルに関する文献の精読 備考：常盤・増澤 |
| | 5 | 授業内容 授業形態：演習 学修課題：次世代育成看護学領域における（研究課題に関する）概念・看護理論・看護モデルの動向 学修内容：次世代育成看護にかかわる（研究課題に関する）概念・看護理論・看護モデルに関する文献レビューのプレゼンテーション・ディスカッション 備考：常盤・増澤 |
| | 6 | 授業内容 授業形態：演習 |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>7</p> <p>学修課題：次世代育成看護学領域における（研究課題に関する）研究論文のクリティーク 学修内容：研究論文のクリティークと分析資料の作成・発表 備考：常盤・増澤</p> <p>授業内容 授業形態：演習</p> <p>8</p> <p>学修課題：次世代育成看護学領域における（研究課題に関する）研究論文のクリティーク 学修内容：研究論文のクリティークと分析資料の作成・発表 備考：常盤・増澤</p> <p>授業内容 授業形態：演習</p> <p>9</p> <p>学修課題：次世代育成看護学領域における（研究課題に関する）研究論文のクリティーク 学修内容：研究論文のクリティークと分析資料の作成・発表 備考：常盤・増澤</p> <p>10</p> <p>授業内容 授業形態：演習</p> <p>11</p> <p>学修課題：次世代育成看護学領域における（研究課題に関する）研究論文のクリティーク 学修内容：研究論文のクリティークと分析資料の作成・発表 備考：常盤・増澤</p> <p>12</p> <p>授業内容 授業形態：演習</p> <p>13</p> <p>学修課題：次世代育成看護学領域における（研究課題に関する）研究の動向と課題 学修内容：次世代育成看護学領域における研究の動向と課題の分析 備考：常盤・増澤</p> <p>14</p> <p>授業内容 授業形態：演習</p> <p>15</p> <p>学修課題：次世代育成看護学領域における研究の発展的な展開方法についてプレゼンテーション・ディスカッション 学修内容：次世代育成看護学領域における研究の発展的な展開方法についてプレゼンテーション・ディスカッション 備考：常盤・増澤</p> |
| 事前・事後学習 | <p>事前学修：シラバスを精読し、授業内容に関する情報を事前に収集し、ディスカッションの資料を作成する。</p> <p>事後学修：授業で学んだ理論を自己の研究課題や研究方法に活用できるか検討し研究ノートを作成する。</p> |
| 評価方法、評価基準 | 到達目標 1～6に対して、プレゼンテーション資料30%、発表内容30%、討論参加度40%で行う。 |
| テキスト | 細心の論文や文献を使用するため、現時点では指定せず授業内で案内する。 |
| 参考図書・資料等 | 適宜提示する |
| 受講、課題、資料配布等のルール | <p>欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡する。</p> <p>プレゼンテーション資料は人数分コピーし、授業前に配布する。</p> <p>プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。</p> |
| 教員からのメッセージ | 次世代育成看護に関わる研究課題を探索し、看護実践に活用できる研究成果を産出できる研究者・教育者を目指して主体的に学習することを期待する。 |
| オフィスアワー | 随時対応する（メール調整） |